

## 第2次那須塩原市総合計画 第3回 審議会

開催年月日：平成28年3月24日(木)

開催時間：14時00分～16時00分

開催場所：那須塩原市役所本庁舎202会議室

### 委員

No.	氏名	出欠	No.	氏名	出欠
1	網代用子	○	16	佐藤由紀子	○
2	安宅勝	○	17	高久結理	○
3	伊澤昭夫		18	高松英樹	
4	石下かをり		19	西田由記子	○
5	薄井海雄	○	20	平山博	○
6	榎本建司	○	21	樋山則男	○
7	大島三千三	○	22	フランシスコ ロサリオ	○
8	大野昌弘	○	23	松浦譲	
9	菊池太輔	○	24	村山茂	○
10	君島章男	○	25	相馬賢市	○
11	君島正三	○	26	室越礼一	
12	君島則夫	○	27	目黒ケイ子	○
13	君島理恵	○	28	柳場美枝子	○
14	越石直子	○	29	山島哲夫	○
15	佐藤幹雄	○	30	渡邊亮	○

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

## 3 市長あいさつ

(市長、公務により退席)

## 4 議事

### 【会長】

それでは、議事を進めたいと思います。

本日の議題は、3点でございます。市民アンケート調査の結果と第1次計画の検証の結果、それから素案ということです。

では、アンケート調査の結果から説明をお願いします。

### (1)市民アンケート調査の結果について

(資料1及び資料4について事務局説明)

### 【会長】

どうもありがとうございました。アンケートについてご質問等がありますか。

資料1の報告書に、詳しい分析は掲載されていますか。

### 【事務局】

分析までは載せていません。

### 【会長】

分析は載っていないが、資料4については、分析はこういった形でしているという一例ですね。アンケートの結果は、今後議論するときにも見ながらしていきたいと思います。

それでは、2番目の議事、第1次計画の検証結果について、ご説明をお願いします。

### (2)第1次那須塩原市総合計画の検証結果について

(資料2について事務局説明)

### 【会長】

どうもありがとうございました。非常に細かい、詳細な説明でございましたが、内容についてご質問等がありましたらお願いします。

F評価というのがありますが、何もやっていないように見えますけど、事務局からお話があったように、数字を使っているの、数字を使った評価で見ると、それでそのまま評価になってしまうと。よくも悪くも正直にここまで出したなと思います。今度の計画の時

にはそのあたりもよく見ていかないと、なかなか難しいと思います。何かご質問ございますか。

**【委員】**

A評価についてですけれども、100%というのはどういった意味でしょう。たとえば、下水道とか道路とかで。

**【会長】**

下水道自体の普及率が100%ということではなくて、下水道の目標値に掲げたものがどの程度達成したかということですね。

**【事務局】**

そのとおりです。

**【委員】**

男女共同参画がF評価ですが、もう少し那須塩原市としても考えていかなくてはならないと思います。那須塩原市は遅れていますので、考えていっていただきたいと思います。

**【会長】**

未把握と書いてありますので、調査していないということですね。

**【事務局】**

26年度のタイミングではアンケート調査を実施していなかったのですが、27年度に行っております。市民アンケートとは別に男女共同参画でアンケートを実施しておりますので、そういったところは今後反映されると思います。男女共同参画につきましては、なかなかすぐに意識が醸成されるものではないところもあって、セミナーを開催したりですとか、市役所でも職員で研修を行ったりというものをしておりますので、私たちを含めてこういったところを今後も進めていきたいと思っております。

**【委員】**

よろしくお願いします。

**【委員】**

未把握をFに入れてしまうと、分かりづらいというか、例えば表記を横棒にして無にした方がいいのではないのかなと思います。あと、字が小さくて見づらいということもあるので、レイアウトを縦ではなく横にしてもいいのかなということが一つと、評価のABCによって、色分けをしたらすごく見やすくなるのかなと思います。

## 【事務局】

アンケートの未把握につきましては、タイミング的に把握していなかったということもありますが、Fという評価だとちょっと生々しいということもありますので、表現につきましては検討させていただきます。ありがとうございました。

## 【会長】

基本計画の時に個々の施策がどうだったかともう一度議論すると思うので、わかりやすくする。今日は全体的なことですので。よろしいでしょうか。

それでは、議事の3、基本構想の素案について、ご説明をお願いいたします。

### (3)第2次那須塩原市総合計画基本構想(素案)について

(資料3について事務局説明)

## 【会長】

これが今後10年間の那須塩原がどういうまちづくりをしていくかという基になるものです。事務局からの説明があったとおり、いろんな課題が出ております。那須塩原市もできて10年経ったわけです。10年というと自治体も一体化するという風に思うでしょうが、正直言うと合併して一体化するまで20年かかると言われています。細かい例で言いますと、行政組織は、合併した時に3つの組織が1つになっています。合併して入った人が幹部になるのが20年です。20年経つと、みんな那須塩原市の職員としてなった人になります。ということで役所の中でも意識が変わる。この10年でどういう那須塩原を作っていくかとみんなで議論して、方向性を導き出してそれに向かって、この基本構想に打ち出すということだと思います。ということでご自由にご議論をいただきたいと思います。いつものとおりですが、全員ご発言はいただきますので、時間は少し短めに、どんどんご議論いただければと思います。

## 【委員】

少子高齢化であるので、若い人の婚活であるとか出会いの場を作って、子育ての環境づくり。あるいは耳鼻科などの医療機関の充実、医療機関の誘致、大学の誘致等にも力を入れなくてはいけないのではないかと思います。

## 【会長】

ありがとうございました。子育てについては、基本政策の7番目「未来を拓く心と体を育むために」に書いてはありますが、委員がおっしゃったように子育てがうまくできるようなまちは、非常に重要なことです。これは、基本構想の中では、どこかということでしょうか。おそらく「人を中心に」のところに入ってくるのでしょうか。ここに子育てとか子どもの話が入る、医療機関はなかなか難しいとは思いますが、重要な課題として、取り組み続けていくようなことを、これからまた具体的にしていきたいと思いますけれども、考えていただけたらと思います。

### 【委員】

子育ての話、少子高齢化のことが出ましたので、忘れないうちに話をさせていただきます。

10年後というと、今20代の人たちがどれだけ那須塩原市で出産して子どもを育ててくれるかということになるかと思いますが、今いる人口ではどんどん減っていきただけとなってしまいます。ということは外から、県内や関東から家族を誘致するようなことがあった場合、先日こちらに興味がある方向けのイベントがあり、その中で皆さんが「那須で子育てができるのか」ということを疑問に思われていました。病院の問題、学校の送り迎えの問題、そういうことを気にされていたので、10年間の中でできることで私が思ったことは、まず、外灯があまりにも少ない。また住むときの浄化槽の問題、都市ガスで育てられているので、プロパンガスに抵抗があるみたいで、それについての説明が必要かと思います。プロパンガスは阪神大震災の際に爆発せずに、一番使えたものなので、そういう説明とかが必要になってくるかなと思います。あと、関東の方で移住してきたいなと興味を持っているお母さん方は、習い事のバスが学校の送り迎えに来てくれて、習い事が終われば家まで送ってくれるというシステムが那須にたくさんあればすぐにでも移住したいとお母さんたちが言っていました。首都圏の方でも学童がいっぱいで、学童に行っても5時とか6時ではなくて、その間に習い事をして家まで送ってくれるというシステムがあれば住みたいとおっしゃっていました。

少子高齢化、高齢者の面倒をみるのは、若い世代なので、その世代が戻ってくるための仕組みをつくらなくてはならないのではないかと思います。

### 【会長】

建設的な意見をありがとうございました。ちゃんと記録をしておいて、基本政策を考えるときにまたご活用いただきたいと思います。

一番若い委員、話してみますか。

### 【委員】

私は、学校で保育士資格・幼稚園教諭資格を取るために学んでいますが、その中で栃木県の子育て環境の充実などについても勉強していますが、県北地域でみると児童館というものが全くなくて、地域の公園もあまりに少ない。那須塩原ですと黒磯公園とか、河畔公園とか大きな公園はありますが、近所に遊ぶ小さい公園が少ない。子どもが集まって、保護者が集まって憩いの場や交流の場になったりすることもあるので、そういう施設が大事であると感じているので、そういうことも政策の中でもやっていただければなと思います。

### 【会長】

どうもありがとうございました。そういうものがあれば、委員もずっと那須塩原に住んでいただけますか。子育ての話というのは、お三方からありましたが、重要な話です。ぜひ、基本政策を考えるときに入れていただければと。

ほかにどうでしょうか。

## 【委員】

私は観光畑なものですから、都市部の方はよくわからないのですけれども、これは都市部の基本構想なのかなと思ってしまいました。塩原は非常に過疎化していて、どんどん人口が減っています。それはなぜかという、今言われた子育ての問題もそうですが、小中学校までは住んでくれています、高校に行く場合に、塩原から西那須野、黒磯に行くにしても定期が一月に5万くらいかかってしまうわけですから、そうすると下で住んだ方がよい、家を建てローン返済か、アパートを借りるか、そういう状態に今はなっています。若い人が下に降りてしまって、塩原に住んでいるのは年寄しかいないということを感じて、どうしたらよいかと思っている。塩原には小中学校一貫校があるが、それもどんどん減っている。認定こども園ができて、不便さを感じ下に降りていっているということがありますから、二次交通が便利になれば、そういった方も塩原に残るのかなと思います。それと、交通費が高いので下に降りてしまうのではないかとも思っています。そのような中で、例えば有名な私立の学校が特色のある学校を作り上げていったら、家族、また生徒も集まってくるのではないかなと思ったりもします。そういうことで二次交通が必要です。

また、お客さんも高齢化している。今までは自動車できた方が、電車やバスを利用してくるということになって、車はいいんですが、塩原温泉の中を観光するときに、交通が不便だということで、どこも見ないで帰ってしまうという状態が続いている。市で、今走っているワゴンバスなどにお客さんを載せてもらえれば、もっと便利になるような気がしますし、それがだめなら塩原周遊、板室・那須周遊という交通網を作っていただければ、お客さんも来やすくなるのかなと思います。県北でも塩原、板室、那須がありますが、バスに乗ってきているお客さんの不便さは、どこの温泉場に行ってもあると思います。那須塩原からバスで那須に行きます、那須から塩原に行くかどうかという、那須塩原へ戻ってまたバスに乗っていくという、かなり無駄な時間等があるものですから、そういったことも過疎化の原因なのかなと。お客さんが来れば当然働く人も多くなってくるし、そういったことを解決していかないとなかなか難しいのかなと。こんな感想でございます。

## 【会長】

ありがとうございます。塩原の交通の問題や学校の問題は、前の総合計画でも議論はされるのですが、なかなかいい解決がないというのが現実です。できることがどういうことかというのを考えていくということでしょうか。

いつでも、発言に関連して、ご意見があれば言ってください。なければ順番で回していただきます。

## 【委員】

「地域の力と交流を生み出すために」についてですが、前に小学校のPTAをやっていた際に、東京の足立区と交流をもちまして、自然体験留学というものを行っていました。山村留学の先進地を視察した時に、生産された米の20%程度を東京の町田市に流通していると聞きました。我々も、栃木県で初めて行ったのですが、当時の町長にも、デメリットばかりではなくメリットを考えればいいのではと話しましたが、なかなか進まない。幸い那須塩原市

になった時には、牛乳、米、観光もあるということで、当時の山村留学で来てくれた子は今でも来てくれています。そのあたりも含めて、地域との交流、都市部との交流も必要なのではないかと思います。

### 【会長】

今、ミルクのお話が出ましたので、牛乳の生乳の生産は本州一位なんですよ。今、駅に貼られていますけれども。それがあまり知られていないので、PRできる食べ物だと思います。

### 【委員】

今言っていることは、例えば、足立区で米にしる牛乳にしる、もし使っていただければ、負担もあるとは思いますがそれなりのメリットもあるのではないかと思います。

山村留学も途中で切れてしまったので。小中一貫校の話も出ていましたが。旧上塩原小学校にメープルという施設があるが、ああいうところで受け入れて交流を深められれば。自然の体験というものはなかなかできない。交流を深めるうえでも必要性が出てくるのではないかなと思います。

### 【委員】

私は、市内で蛇とか蛙とかを調査している者です。今の話にも出た山村留学の講師もやらせてもらいましたが、メープルという施設の話も出ましたが、あそこは今、不登校対策で使っている。あそこを山村留学の基地として、何とか年間10人か15人ぐらいでも生活できるようにすれば、給食を泊まり込みで作っている人もいますので、今の塩原小中学校の人数も増えてくれば、複式学級にもならず継続していくような気がします。不登校の生徒だけではなくて、不登校の生徒も含めて、クラス単位、学級単位でそこを利用できるようになれば、より不登校をなくすような対策にもなるのではないかと思います。不登校と山村留学の生徒も含めた自然体験など、具体的な行動をとっていかないとこれからはきついかなと思います。

### 【委員】

基本政策で「豊かな自然と共に生きるために」ということで、自分ちは農家なので、自然を維持していくには農業は欠かせないのかと思います。ましてや、那須塩原市は酪農地帯であり、私は塩原にもともと住んでいたもので、塩原の高地を利用して成功している事例や、黒磯だったら大規模にやっている酪農家さんなどをモデルケースとしてPRしていただくことで、農業でやっていこうと思う若い世代がいると思います。東京では大きな農業はできなくて、栃木県、県北地域は土地もあり、交通の便も良くて、すごく推せる部分だと思っているので、そこを活かしてPRすることで、20代後半から30代で、農業で生きていこうと考えている人を呼び込めるのかなと考えております。そのモデルケースが見当たらないので、成功している方は何千万円、何億と売り上げていて、そういう農業の成功事例が農業をやりたいと思っている若者には必要かなと思います。

20代後半から30代の自分たちの世代が、もともと少ないうえに、都会に出てしまって少なくなっている。安全安心、地域を守るといふ消防団もメンバーがいないので、そうなるとう東日本の震災の時や水害のことを考えると、1消防団で10人いないという時もあるので、何もできない状態になっていくことも考えられます。地域を守るといふことも危うくなる。

那須塩原市の消防団は塩原、西那須野、黒磯と分かれているので、そういう編成の問題もあるのかとも思いますが。まずは、同じ世代が減らない方向で。農業はあらゆる政策に関連していくと思うので問題ないと思うが、そういうモデルケースをどこかで取り上げられていたら、新しい人も入ってくると思います。

### 【会長】

農業の将来像をきちんとわかるようにしていく必要があるというご意見ですね。ありがとうございました。では、次の方。

### 【委員】

私は、資料2の検証結果のことも話したいのですが、どうしてF評価になったのか、原因があると思います。そのあたりの考察が書いてなかったの、どうしてそういう評価になったのかというのが一点。そういったことを基に将来を語っていただけるとと思います。

那須塩原でも西那須野地域は人口が増えていると聞いている。どうして増えているのか、増えている要因や、減っているところは減っているところなりの要因とか、分析結果を示していただければ、これからの策定につながるのではないかと考えています。

### 【会長】

具体的な施策を考えるときにもう一度見直すということになると思います。

### 【委員】

コミュニティを運営していますので、今自治会の加入率が60%ということで問題となっています。行政として、自治会のあり方、自治会の仕事が多くなるばかりでは加入してくれる方も減ってしまうということもあります。

将来像にもありますが、「人がつながり」、心豊かな古い付き合いを大事にしてとか、そういったことをうまくクローズアップして、行政がある程度音頭をとって、自治会やコミュニティがうまく共に手助けしながら運営できるようなことを、改めて昔の助け合いのようなことに少しでも戻るような施策も具体的に必要であると思っています。

それとまちの活力を高めるためにとありますが、地元の産業、今からは企業誘致等は考えられないので、酪農業や農業を、経営者だけではなくまち全体で色んな意味で開発をしながら、地元の産業として根付かせて、循環させていくかということクローズアップしたらいいかなと思います。

### 【会長】

どうもありがとうございました。色々発言していただいています、順番に当てています



が、関連する発言があればその時にしていただいで結構です。

### 【委員】

違う会議がこの後あるので、先に発言させていただきます。

誕生して10年が経って、3つの市町が1つになりましたが、なかなか一体感は生まれていないのかなと思います。まだまだ那須塩原市と言いながらも、黒磯、西那須野、塩原と分かれているというのが実感です。

私は西那須野西三島に住んでいますが、人口は増えています。西三島自治会につきましては、子どもたちの帰宅の見守りなど様々なことをやっています。

逆に班から抜きたいという人もいると嘆いている班長さんもいらっしゃいました。何が原因かはわかりませんが。

これからの一体感は、隣近所のおつきあいが基本かなと思います。子どもたちが帰る時には、誰々の家の子もだねという風にわかるくらいになればと思います。

子育てについても幼保連携など色々言われていますが、子育て世代を十二分に頭の中に入れてもらいたいと思っています。

医療の面ですが、市内に国際医療福祉大学病院があります。3年ほど前に医学部を設置したいという意向がありましたが、自治医大や独協医大に反対され、最終的には特区で成田の方にできました。研修生はこちらに来るということで、その研修棟を作り始めています。そういう中で、那須塩原地域、西那須野地域は、都会から来た子どもたちがどのような形で我々住民と一緒に活動できるのか、仲間になれるのか、ここにまた来たいと思えるための施策というのも、地域と共にやっていかななくてはならないと思います。

そういう形で一体感ということで、何が言いたいかわからないところもありますが、まずは隣近所が手を取り合う、向こう三軒両隣という形の、地域の子どもたちは自分の子どもたちだよということで見守りたいと思います。

### 【会長】

皆様から熱い議論をいただいて、時間内に全ての方が発言できなくなる恐れが出てきました。どうしてもという方は構いませんが、これから発言される方は短めをお願いいたします。

### 【委員】

本日は、基本理念あるいは将来像などを議論すると、具体的なことについてはまだする段階ではないと理解して出席しております。そういうことで、若干発言させていただきます。

一番最後の28ページですが、基本理念、全体として保守的というか、市内の人を中心に考えるから当然と言えば当然ですけれども、基本理念に基づき、将来像、基本政策、基本計画、実施計画、色々進んでいく中で、「人を中心に共に支え合うまちづくり」、支え合うだけではなく、「人が輝く」というような表現でどうか。将来像についても、人がつながりではなく、輝きを増すということで考えたらいいのではないかと思います。基本政策の中にも、ポジティブな言葉を入れていったらいいのではないかという風に考えています。

### 【会長】

非常に貴重なご意見をいただきました。将来像を見ると、「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」ということで、委員がおっしゃるとおり、基本理念の中に新しい力が湧きあがる、ということが入っていない感じがするということだと思いますが、新しい輝きを作っていくんだということを説明文章でもいいですけど、少し入れないと新しい力がどこで湧きあがるのか、支え合っているだけではないかということにもなりかねない、その辺は表現を工夫していただければ。どうもありがとうございました。

### 【委員】

同じような感じを受けましたので。3市町でこれからやっていきたいと思いますという時の将来像のような印象を受けました。

### 【会長】

表現より具体ですね。説明をきちんとする必要がありますね。この言葉自体これでいいと思いますけど、どういう風に湧きあがって、どんな力かうまく説明する必要があります。

### 【委員】

第1次計画の検証、ご説明いただいて大変ありがとうございました。また、現状の把握と課題、適切に抽出されておりますので、こちらに沿って検討していただければと思います。検証の中の生涯スポーツの振興の部分で見ていただくとわかりますが、達成率がいいのは青木サッカー場の整備、これがAで、あとはFでございます。この検証を尊重して、次期総合計画には進捗が高まるような基本施策、基本計画を樹立していただければと思います。

蛇足ではございますが、22年の栃木国体、市内に会場が決定している種目が4つあります。ソフトテニス、トライアスロン、サッカー、ゴルフ。これに伴う人材の育成は4種目共通ですが、トライアスロンは施設の整備はあまり伴わないかと思います。それにしても、大会を誘致して運営するのは、道路等含めての施設の整備が必要かと思います。現状と課題にも載っておりますので、実現に向けて、2次計画ができますようよろしくお願いいたします。

### 【委員】

基本理念、基本政策といったベーシックなところでの考え方ということは今ここで理解しました。

私は今、教育現場で働いている関係で、自分たちがこの地にどれだけ愛着が持てるかという施策が重要になってくるのではないかという気がしております。子どもはいったん外に出ても構わないと思います。視野を広げた上で、またここに戻ってきて、その力を発揮できる。そういった仕組みづくりがあれば、いったん出てもいいのではないかと思います。ただそこにはベースとなる、ここで記されている「未来を拓く心と体を育むために」といったところがまさに重要になってくるのではないかなという気がしています。意見や提言ではなく、この部分に共感したということでご意見させていただきます。

### 【委員】

私は具体的なことは考えてきませんでした。10ページの第1次総合計画の総括、取り組みと成果という中で、2次はどう進めていくかということ、力を入れるところを具体的に表していくといいのではないかなと思うことと、私はここに参加させていただいているんですけども、多くの市民の人たちが、市役所の政策的なこととかわからないのではないかと思いますので、インターネットを使っているという方も那須塩原市では30%くらいしかいなかったと思うので、こういったことを知らせていけば、愛着度も上げていけるのではないかなということ、基本理念の2番目の歴史ということですが、開拓の歴史、塩原の歴史などを全面的に出していけば、観光にもつながるのではないかと思います。

### 【会長】

ありがとうございました。検証については、他の委員からもご意見がありましたが、具体的な政策をやるとき、決定するときに、何がどうなったと整理されると思います。それから住民には、説明会とか知らせていく予定です。

### 【委員】

これまでお話にあった教育、子育てはもちろん重要ですが、生活安全の確保について目にとまりました。生活するためには、4人家族で300万から400万必要であると言われており、那須塩原市の各家庭ではどれくらいの収入があるかどうか疑問に思いました。実際そんなにないと思います。共働きの家でやっと手にできる収入かなという感じがします。

そんな中で、児童福祉の充実とか子育て支援とか事業を起こすとか、那須塩原市の中でお客さんがいなければ成り立たないことなので、各家庭の雇用とか就労の充実、収入に対してもっと真剣に考えていただいて、家庭から生活が豊かになって、ゆとりも生まれる、そして自分たちの子どもを育てていく、お金を使っていくという家庭を充実してやってもらいたいなと思っています。

### 【委員】

雇用就労関係の充実の分野のアンケート結果報告書を見させていただいたが、不満を多く感じているのは、女性、20代、30代の方が多い。子育て世代で仕事を探している方や若年者の方に対する施策というのも考えていかななくてはならないなと思っています。また、優先的に取り組んでほしい施策でも6番目。定住促進では、働く場が1番重要であると74.7%が答えていることから、改めて重要であると感じました。

### 【会長】

これから基本政策を考えるときに、委員の知見をぜひ活かして、充実していただければと思います。

### 【委員】

将来像について、私としては、ワクワクする素敵な将来像だなと感じました。

キーワードとしては、「人がつながる」ということと、「新しい力」ということになるかと思えますので、その2つを基本政策の中に大きく盛り込んでいただいて、どんな新しい力が生まれるのかというところを、どんどん入れ込んでいただければということを考えてところです。

### 【委員】

私は、男女共同参画という点にも関わっておりまして、那須塩原市は0%くらいに男女共同参画の意識が低い場所であると感じています。子育て世代から高齢者まで全般に関わってくると思います。まちの部分も観光の部分も、いろんな部分に入ってくると思いますので、そういう点はぜひ重きを置いて考えてほしいと思います。

### 【委員】

本日は、初めて参加させていただきまして、皆さんの貴重な意見を聞かせていただき本当にありがとうございました。

将来像の中に、学校や病院の充実、交通の整備、子どもたちが住みやすい、また大人も住みやすいという中で、私はJA関係の者ですから、農業者・生産者を作って、地元の農産物や牛乳、米、野菜、地産地消を含めまして、大人も子どもの地元のものをよろこんで食べてもらえる。また、観光客の方々にも大々的にPRをして、那須塩原市に来れば地元のおいしい農産物がどこにでもある、おいしいものが食べられる、そういったまちづくりができれば、これまで以上に「人のつながり」も「新しい力」も湧いてくるのかなと思いますので、お願いしたいと思います。

### 【会長】

観光や農業は那須塩原の要ですからね。お願いというより、自分たちでやる。人がつながり、自らやる、是非お願いしたいと思います。

### 【委員】

自分は子育て支援の仕事をしていますが、県内の他の都市に比べてスタートは非常に遅かったというのは事実だと思いますが、急ピッチに色々な充実が図られていて、現状だけ考えると、マイナスを言えばいっぱいありますが、結構よくなっているのではないかと考えています。ただ、それに比べて遅れているのは、子どもがもうちょっと大きくなってからではないかと思っています。

今は定住促進ということで若い世代に呼びかけていますが、その方たちが定住して引っかかってしまうのは、中学校高校あたりなのではないか、そこになったときにやっぱり東京に戻ると首都圏に戻るという風になってしまうのではないかと考えています。決してこの中学校が悪いということではなく、学びたいということに対して、もっと選択肢があるのだと思います。スポーツで輝きたいとか学ぶことをもっと追究したいとか。那須塩原もスポーツで輝きたいという方には厚いような気がします、学びたいということに答えるメニューが非常に少ない。部活一つとっても、スポーツの部活はいっぱいあるが、例えば科学を追求し

たいとか、ここは自然環境がいっぱいあるので、学ぼうと思えば、材料は山の様にあると思いますが、なかなか材料を活かして、学ぶに使えるメニューがないのではないかと思います。

中学校高校の時に、いろんな輝き方があると思うんですが、学ぶことで輝きたいという子どもたちにも考える施策が必要ではないかなと、材料はいっぱいあるので、そこをもっと活かしていけばいいのではないかと。そうすると、外に出てしまう人も少なくなると思いますし、出たときにまたここに戻ってこようとなるのではないかなというのが、一番気になっているところです。

### 【委員】

私はNPO法人で、福祉の現場を調査するという仕事を主な仕事としております。個人的には民生委員とかもやっているのですが、その場で一番感じますが、福祉現場にいる方の処遇がいかにか低い。毎回言っていますが、上がっていかないといけない。必要性はすごく高い、雇用としても非常に大きな比重を占めているにも関わらず、そこで働く人々の処遇は低い。それこそ先ほどおっしゃられたように2人合わせて400万になるかならないかという状況ですから、そこが何とかならないか。それは、市単独だけでは何ともならないとは思いますが、例えば保育士さんはものすごく必要なのに足りない、なぜ足りないかという責任の割に処遇が悪い。市でも正規の職員は3分の1しかいない。あとは非常勤でまかなっているということがあるので、もっと何とかならないかと思えます。

もう一つは個人的な思いで、先ほど別の委員が、若い世代に農業をやってもらいたいとおっしゃっているのは、私が40年前にこちらに来た時に何がとても印象的だったかという、田んぼの5月の美しさ、里山里地の新緑の輝き、この2つは都会から移ってきたものにとっては、すごく魅力があった。それから、後継者がいなくなるということはとても寂しいことですし、この地の自然の美しさを担っている半分以上は田畑の美しさにあるのではないかと思うので、それがずっと引き継がれるような施策はぜひ必要だと思います。

### 【会長】

自然と共生するというのが理念ですから。

時間は過ぎていますが、いかがですか。

### 【委員】

中身については、語るとすごく時間がかかってしまうので、ひとつだけ。

将来像の言葉についてすごく気になっているので。「人がつながり」と「新しい力が湧きあがる」とありますが、どちらに重きがいくのか。両方主語なので、まさに新しい力が湧きあがるというのがどうしてもイメージできない。人がつながり、人が主体なのに、新しい力がどこから湧きあがるのか、そのあいまいさが気になっていて、主語を削った方がいいのかなと気になっています。

### 【会長】

貴重なご指摘ですが、これは、新しい力が湧きあがるんですよ。人がつながることによっ

て、こう言わざるを得ない。

**【委員】**

そうすると、「が」と「湧きあがる」の間は空けない方がいいのではないかなど。新しい力が湧きあがるとつなげた方がいいと思います。

**【会長】**

また貴重なご意見ですね。

**【委員】**

文章を書くことが多いものですから、そういうところが気になっていました。基本政策の「豊かな自然と共に生きるために」、ための後がないのでわかりにくい。27ページを見ればこういうことを推進するんだなど、そこを見てはじめてわかるみたいなどころがあったので。前の現状と課題なども、まとめ方が飛んでいるような気がする。具体的な例が申し上げられないので、何がとは言えないが、すみません。

**【会長】**

制限があってどこまでどういうことができるかわかりませんが、委員からあまり指摘されないような文章をお願いします。

**【委員】**

よろしいでしょうか。

ちょっと思ったんですけど、ここだけの人のつながりではなく、色んな人がつながって、新しい力がと考えると、このままでもいいのかなど。

**【会長】**

時間になってしまったのですが、副会長にまとめていただく前にどうしても発言したい方がいれば。

**【委員】**

全国的に貧困児が問題になっています。そういった関係の予算がついてないと聞いて悲しいと思いました。那須塩原の子どもたちがそういったことで困らないよう対策することも必要と思います。

**【会長】**

ありがとうございました。今日は非常にたくさんの意見が出てまとめが大変だと思いますが、副会長よろしくをお願いします。

### **【副会長】**

皆様からたくさんの素晴らしい意見がでました。これから10年後ということで、10年ひと昔ですからね、これを具現化していくということが大事であると思います。私も商工の立場から、人口減少による影響が各分野に出ることがわかったわけですが、皆さんと一緒に意見を出して、5年後には具現化できるように皆さんと一緒に努力していきたいということでまとめたいと思います。

### **【会長】**

うまくまとめていただきました。時間が過ぎてしまいましたが、これで議事を終了したいと思います。

### **【司会】**

議事の進行大変お疲れ様でした。ありがとうございました。会議次第5のその他ということでございますが、委員の皆さまから何かございますか。

ないでしょうか。それでは事務局の方からご連絡をさせていただきたいと思います。

## **5 その他**

(今後のスケジュールなどについて事務局説明)

## **6 閉会**